

E ところ・ええ街協議体通信【アンケート報告】

ご協力ありがとうございました！

令和3年
6月発行

令和2年、8月に実施した「地域での暮らしと支え合いに関する調査」のアンケートの結果を、ポイントを絞り今やっていること、やってみたいことや困りごと、支え合いについてまとめました。大変多くの方からご協力をいただき、感謝申し上げます。

< 調査目的 >

地域の高齢者の暮らしや支え合いに関する実態を把握し、末長く幸福に満ちた暮らしを実現できるように、思いや望みを活かした介護予防や生活支援に繋がる仕組みづくりを検討するためにアンケートを実施した。

< 調査地域 > 東地区の15町内

< 調査期間 > 令和2年8月～令和2年9月まで

< 調査対象 > 65歳以上の方

< 回収結果 > 配布数：216部/ 回収数216部

○平均年齢：76歳

○夫婦のみ同居：29.2%

○回答者：男性49.5%/女性50.5%

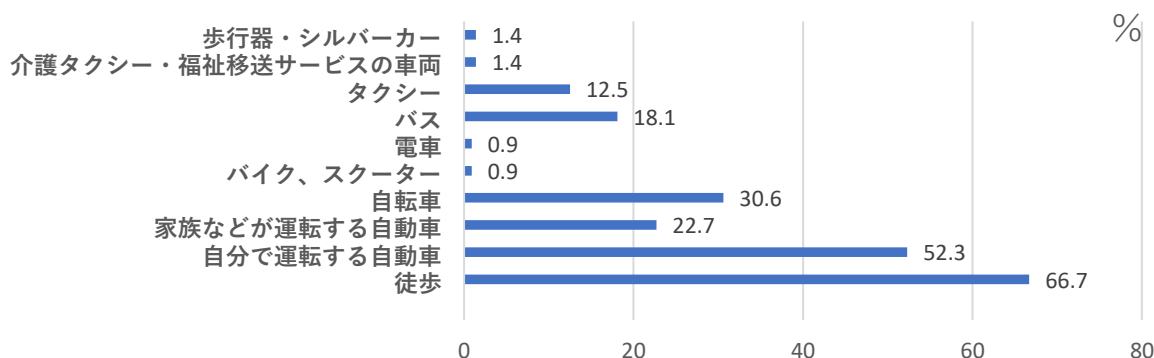
○介護認定を受けていない：88.0%

○ひとり暮らし：18.1%

○介護認定を受けている：11.1%

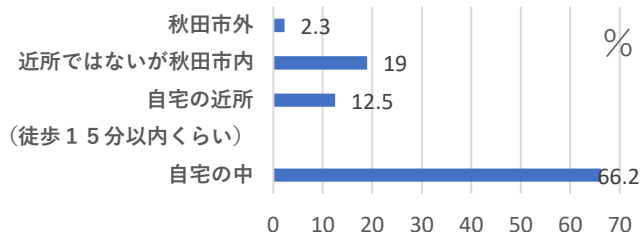
直近の国勢調査では、介護認定を受けている65歳以上の方は、22%である。比較的元気な高齢者が多い。

あなたがふだんよく使う外出方法を教えてください。



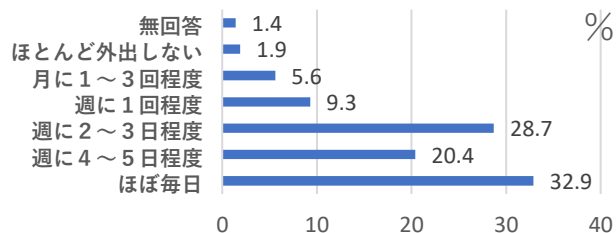
最も多いのが徒歩。次に自家用車、自転車の順になっている。徒歩圏内にスーパー、銀行など地域資源があり、歩いて可能な暮らしやすい環境であると推測される。

自由な時間がある時は、どこで時間を過ごすことが多いですか。



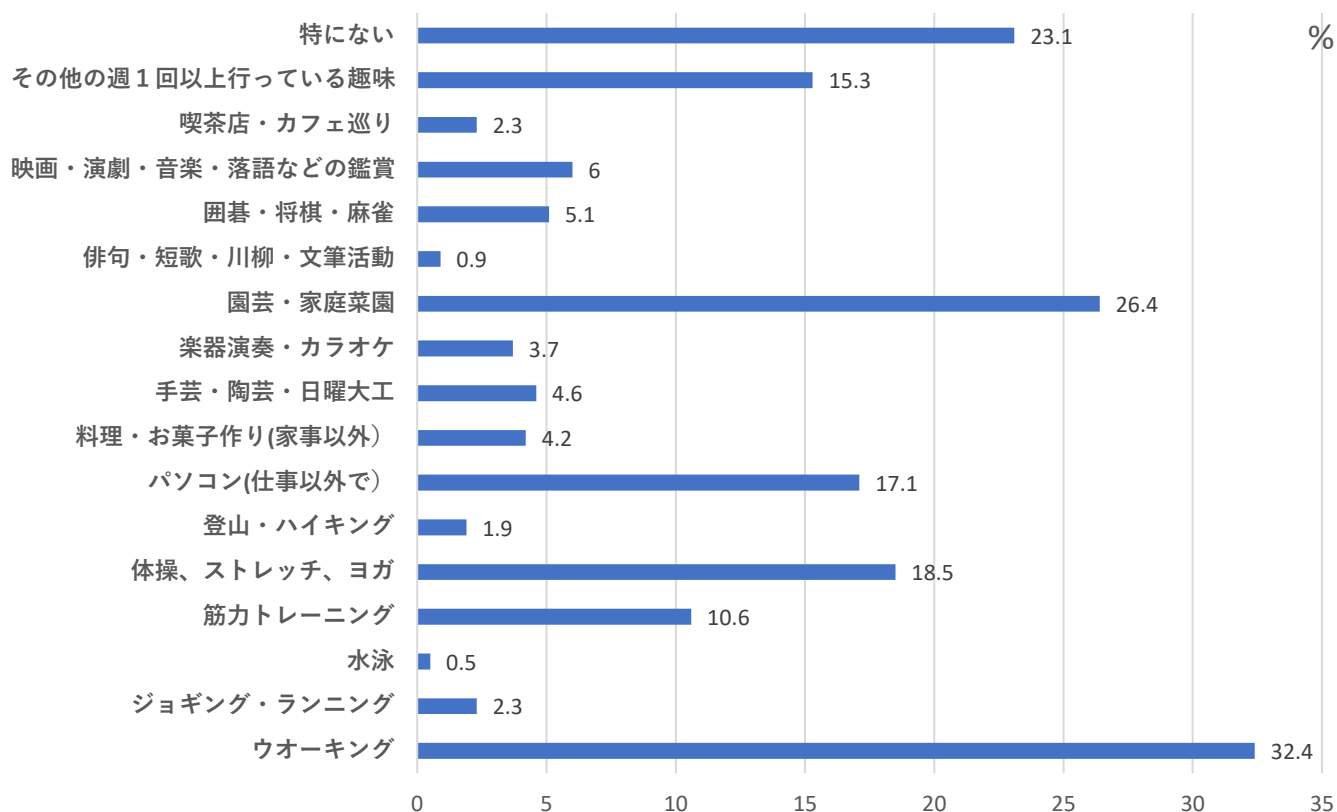
自宅で自由な時間を過ごす方が、半数以上。自宅の近所よりも「広い地域で日中過ごしている方」の方が多く、比較的活動的な方が多いと思われる。

ふだん自宅から外出する頻度はどのくらいですか。



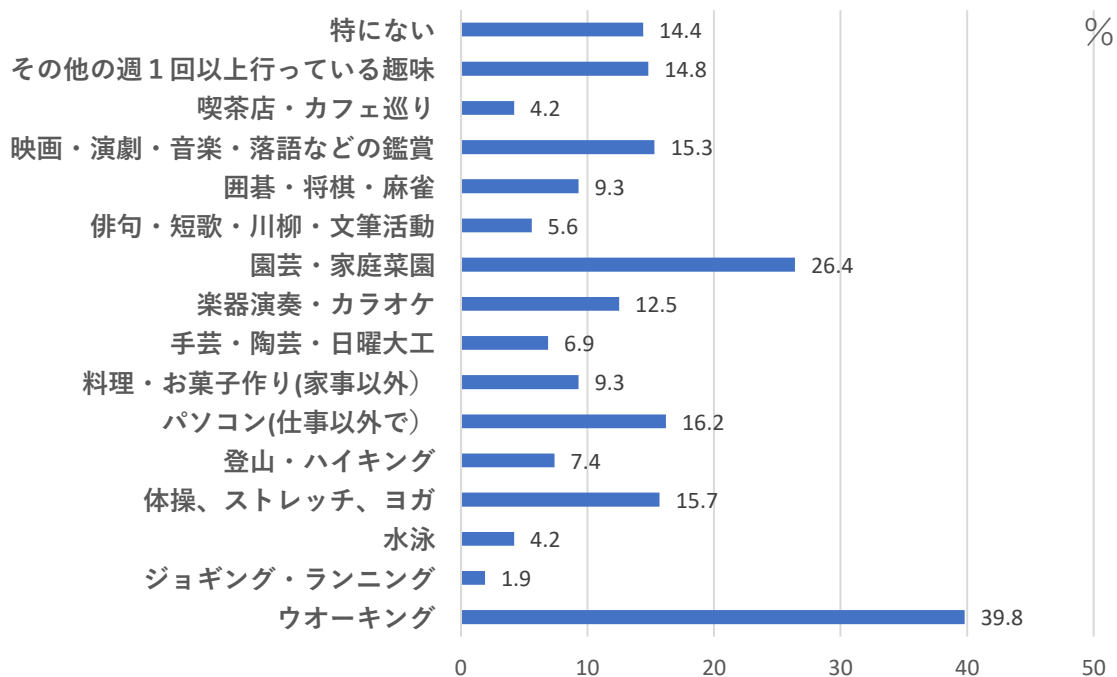
一般に閉じこもりと言われる週に1回未満の外出の方は7.5%であり、比較的外出している人が多い。

あなたが週1回以上行っているものはありますか。(複数回答)



全体的に運動系が多く、自宅では園芸やパソコンで過ごしていると思われる。
 今後は、時代と共にパソコンなどもっと増えるだろう。

あなたが、今後やってみたいこと、または今後も続けたいことを教えてください。



高齢化と体力の低下を考慮していると思われるが、映画やカラオケなど屋内で行うものが増加。
 一方では、ハイキング、登山を希望者が、現在行っている人より4倍近く上昇。体力に自信を持っている人がいると推測される。

あなたが、日頃の困りごと、支え合い活動の希望についてお尋ねします。

日常生活で困ってること	支え合いを希望する または将来的に頼みたいこと	支え合いに協力できること
1位：除雪、雪よせ 21.8%	1位：除雪、雪よせ 16.7%	1位：声かけ、安否確認 23.1%
2位：家具の移動、電球交換 10.2%	2位：声かけ、安否確認 8.9%	2位：話し相手 16.7%
3位：草むしり 9.3%	3位：粗大ごみや新聞ゴミなど 大きなごみ出し 7.4%	3位：交流の場、集いの場 14.8%
4位：	4位：交流の場、集いの場	4位：ゴミ出し 11.6%
※特に困っていない 88.9%		※除雪、雪よせ 8.8%



労作が伴うものが困っている。

声かけ、話し相手、交流など希望があげられているが、将来に不安を抱いている人がいると推測される。

体力を要するものより、手軽な会話など協力できる人が多かった。



ま

と

め

65歳以上の介護認定率からみても分かる通り、国の平均認定率22%よりも低く、東地区は、比較的元気な高齢者が多いようです。

今は、新型コロナウイルス感染症が流行し、外出する機会が減ったり今までとは違う生活を送っていると思われます。コロナ感染は怖いことですが、それと同じく怖いのが、**フレイル(虚弱)**です。何もしないで家の中でじっとしていると、身体的・認知的機能が低下して要介護状態に向かいます。

アンケートでは、自宅の中で自由な時間を過ごす方が半数以上いますが、家で園芸やパソコンで楽しんだり、ウォーキングなど運動して過ごされており、**自分の楽しみを見つけて**過ごされている方が多いと思われます。

定期的に**出かける**ところがあり、楽しみのある生活は、生活にハリができて心身に良い状態につながります。今後やってみたいことの第一位にウォーキング、第二位は園芸、第三位はパソコンとありました。自粛期間中であっても、感染予防に気をつけて、身近なところで少人数でもいいので、**自分らしくいられる機会や場所**を創り出していけたらと思います。

また、困りごとトップの雪よせ、家具の移動、草むしりなどの協力については、どのように地域で社会資源を構築し、活用していくか課題なので、協議体でも協議していきたいと思えます。同時に、将来支え合いを希望している声かけや話し相手、交流などは、会話や声かけに協力できる方と上手く繋げていければと思います。

今後の取り組み

○アンケート結果を活用した、小さな単位での意見交換や座談会の開催

○アンケートからやってみたいことの具体化

○労作を伴う困りごとについての対策

以上のことを、協議体委員と協議しながら、地域の皆様と一緒に考えていきたいと思います。



仲間とウォーキング
「いいね、ばっけの会」



一緒に協議したい方、募集
してます！

自分たちの住んでいる所で
「自分らしくいきいきと暮ら
したい方！」「地域のために
何かしたい方！」大歓迎！
一緒に話し合いに参加しませ
んか?!

- (事務局)
- 東通地域包括支援センターひだまり
- 秋田市東通仲町4-1アルヴェ 5階
- (018)884-1405